

《千葉県DV防止・被害者支援基本計画（第4次）》
令和元年度施策 評価シート

評価コード 16

施策の方向	職務関係者の資質向上
担当課	児童家庭課・女性サポートセンター・教育庁教育振興部生涯学習課

1 事業の概要

基本目標	VI	施策の方向	11	施策の内容	・DV職務関係者研修等の充実
当初予算額(千円)		703		決算額(千円)	
				596	
事業の概要・目的	<p>124市町村、関係機関への講師派遣（児童家庭課・女性サポートセンター）市町村や裁判所など関係機関が開催する研修や講演会等へ職員を講師として派遣するなど、研修機会の確保に努める。</p> <p>125国等で主催する研修への参加（児童家庭課・女性サポートセンター等）内閣府等で実施する様々な研修や独立行政法人国立女性教育会館で開催される研修等に職員を派遣し、資質向上を図るとともに、情報収集に努める。</p> <p>126市町村家庭教育相談員及び子育てサポーター等への研修（教育庁生涯学習課）市町村相談員及び子育てサポーターリーダーを養成し、県内の家庭教育相談体制の強化を図る。</p>				
数値目標など					
指標名等	-				
目標	-	実績	-		

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

<p>124女性サポートセンター【当初予算0円・決算0円】 市町村や国等の実施する研修に県職員を講師として派遣した。 市町村派遣 1回（男女課1回） 国等派遣 2回（女サポ2回） 県関係機関派遣 6回（男女課2回、女サポ4回）</p> <p>125男女共同参画課・女性サポートセンター等【当初予算0円・決算0円】 国等で開催される研修等に職員を派遣し、資質向上及び情報収集に努めた。 関東甲信越地区婦人保護事業研究協議会 埼玉県で7/19に開催 全国婦人相談所長及び婦人保護主管係長研究協議会 3名参加（男女課2名・女サポ1名） 女性に対する暴力被害者のための官官・官民連携促進ワークショップ事業 19名参加 若年層を対象とした女性に対する暴力の予防啓発のための研修 1名参加（男女課1名） 女性関連施設相談員研修 1名参加（女サポ1名） 婦人相談所等指導者研修 1名参加（女サポ1名）</p> <p>126生涯学習課【当初予算703千円・決算596千円】 家庭教育研修講座「親の学び・相談基礎コース」「相談コースⅠ」「相談コースⅡ」各3回、全18講座の中の1講座「子供と家族の支援を考える②」において、児童養護施設愛泉寮 臨床心理士 中村麻実子 氏を講師として招聘し、DVの定義や種類、心理的虐待やDV被害者についての詳細、DVのサイクル、DVの被害者支援において注意すべきこと等を内容とした講座を実施した。 ・講座受講者60名、研修満足度95.0%。 ・以下、受講者からの感想より ・心理的虐待は他の児童虐待より表面化しづらく、経済的レベルに関わらず起こりうるとわかった。 ・虐待対応を実際に行っていた生の声を聴くことができ、仕事に生かせると思った。 ・実際の子どものやりとりの様子が目に浮かぶようでひきつけられた。 ・「子どもの命を守る」ための支援をやっていこうと改めて思った。 ・虐待・ひきこもりは、いま身近な話題になっているので、納得しながら聞くことができた。</p>

(2) 評価 (別紙視点参照)

124県職員の派遣により、各機関において研修機会を確保できた。

125相談内容が複雑化・多様化していることから、よりきめ細やかな支援が求められており、相談業務に携わる職員の専門知識の習得、資質向上を継続して図っていく必要がある。

126・DVの定義や種類、また心理的虐待やDVの被害者の具体について知ることができた。
・DVのサイクル(ハネムーン期・蓄積期・爆発期)と、それぞれの時期の特徴について理解を図ることができた。
・DVの被害者支援において、すべきこと、やってはいけないことについて、共通理解を図ることができた。

3 課題及び改善すべき点はあるか、ある場合、今後どのように対応していくのか。

<課題・改善すべき点>

124DVや児童虐待の増加に伴い、様々な機関や相談員に相談が寄せられるようになってきていることから、引続き、広く研修機会を確保していく必要がある。

125相談内容が複雑化・多様化していることから、よりきめ細やかな支援が求められており、相談業務に携わる職員の専門知識の習得、資質向上を継続して図っていく必要がある。

126・市町村における家庭教育支援活動及び相談業務活動が、DVの解決にどのように関わっていけるのか明らかにする必要がある。支援員等の知識・技能の習得及び資質の向上等、人材の育成を図る本講座においてDVをどう扱うかが課題である。

<今後の方針>

124引続き職員の派遣や家庭教育研修講座を実施し、幅広い機関における研修機会を確保する。

125国等の開催する研修への職員の参加により、職員の専門知識の習得、資質向上を図っていく。

126・DV家庭は、家庭教育力に課題を抱えている場合が多い。DV被害を低減または予防していくために、家庭教育支援が果たすべき役割は何か明らかにしていく視点で、今後講座を再構成していく必要がある。